



「大阪・関西万博」開幕！

大阪・関西万博が4月13日、大阪市の人工島「夢洲」で開幕しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、10月13日まで184日間の会期が始まりました。国内の万博では過去最多となる158カ国・地域が参加し、医療、科学などの最新技術や独自の文化を発信しています。今回の大阪・関西万博での聴覚障がい関連の話題を少しご紹介します。

「しゃべり描きアプリ」の活用



今回の万博では、きこえにくい人たちへの案内や訪日外国人への案内に三菱電機の「しゃべり描きアプリ」を使用しています。

同社が開発した「しゃべり描きアプリ」では、音声認識や翻訳機能を備え、指でなぞった場所に話した言葉が表示される仕様になっています。案内者が「ここが〇〇のパビリオンです」などと話し、画面の地図上をなぞれば、その音声は文字となりそのまま表示されます。

このアプリのポイントは、きこえにくい人たちは、資料をみながら説明を聞く際に、指さしている資料と話している唇の動きの両方を見ることが難しいため、指先に話している言葉を文字にして表示してくれるところです。一般ユーザー用に一部カスタマイズした「しゃべり描きアプリ 2025」は、大阪万博期間中無料でダウンロード可能です。

画像は、筆者がデモで音声入力した画面です。

補聴援助システムの

補装具費の支給基準改正について

令和7年（2025年）3月31日付けで、障害者総合支援法に基づく補装具費の支給基準が改正され、補聴援助システムに関する支給額が変更されました。

＜補聴援助システムとは？＞

この補聴援助システムは、きこえにくい児童生徒の聴覚的情報保障のひとつです。

このシステムを使うことで、話し手の声を専用マイクから補聴器や人工内耳に直接届けることで、雑音や距離などの影響がある程度抑えられ、ききとりやすくなります。

この補聴援助システムには、いくつか種類があり、使用上の注意点もいくつかあります。詳細は、みみネットバックナンバー（340,341,342,343,345,349）をご参照ください。

バックナンバーについては、本校ホームページより閲覧可能です！「内容一覧」から、知りたいトピックの掲載号を、ご確認ください！

＜なにかがかわったの？＞

これまで、受信機（97,300円）とワイヤレスマイク（135,400円）は別々に金額が決まっておりましたが、改正後は、受信機とワイヤレスマイクの合計額が、232,700円以内であることが条件となりました。

＜どんなメリットがあるの？＞

例えば、フォナックのロジャーシステムを利用している場合、従来はロジャータッチスクリーンマイクなどの送信機のほか、専用の受信機も必要でしたが、ここ最近発売されているフォナックの対応補聴器であれば受信機がなくなりました。一方で、送信機の価格が年々高額化しており、これまでの上限額（135,400円）では自己負担が大きくなるという課題がありました。

今回の支給基準の改正により、受信機と送信機を合わせた上限額が232,700円に変更されたことで、福祉制度の範囲内で選べる送信機の種類が広がった形になります。

ただし、支給に関しては細かな要件や解釈があるため、詳しくは市町村の窓口にご相談ください。

6/7

「オープンスクール」のご案内

本校では、6月7日（土）に、オープンスクール（学校見学会）を実施します。
進路選択の参考として、ぜひご参加ください。

- 1 日 時 令和7年6月7日(土) 午前8時30分～12時10分
- 2 場 所 本校 各学部校舎
- 3 対 象 本校の保育・授業に関心のある幼児児童生徒、その保護者
教職員、関係者
- 4 内 容 8:30 受付開始（通用門前）
8:50 学校紹介（校長・生徒会）
9:20 進路紹介（卒業生）「社会に出て感じる聴覚支援学校の存在について」
9:30 講演（兵庫教育大学 中島武史先生）
「子どもたちの課題と聴覚支援学校の役割について」
10:00 各部紹介
10:30 各部見学（団体）
11:20 各部見学（自由）
12:10 個別相談、寄宿舎見学（希望者）
- 5 その他 ・駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関でご来校ください。
・スリッパや上靴をご持参ください。
・敷地内は全面禁煙です。
・保育、授業一覧、会場図は当日配付させていただきます。
・例年、6月に実施していました小学部、中学部、高等部のみの学校見学会は実施しませんので、ご興味のある方はオープンスクールにご参加ください。

〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

大阪メトロ：谷町線・中央線「谷町4丁目」⑩番出口 南東約600m

谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」⑦番出口 北東約600m

シティバス：上町一丁目もしくは国立病院前下車

〈申込方法〉 QRコードを読み取り、**5月23日（金）**までにお申し込みください。

〈問い合わせ〉 大阪府立中央聴覚支援学校 （担当）横山

TEL 06-6761-1419

FAX 06-6762-1800



チャレンジ！発音指導 ㉓

ハ行音

ハ行音は、やさしそうに見えて、実は少し複雑な音でもあります。というのも、「は・ひ・へ・ほ」と「ふ」では、子音の出し方（構音の仕方）が異なります。「は・ひ・へ・ほ」は喉の奥（声門）を軽く開いて、息だけを出すことで作られる無声音です。これは英語などの[h]音とよく似ており、舌や唇をほとんど使わずに発音します。一方で、「ふ」の音だけは少し特殊で、日本語では[h]ではなく、上下の唇を軽くすぼめて息を出す音[ɸ]（無声両唇摩擦音、英語の[f]と似ています）で発音されています。そのため、「ふ」だけ他のハ行音と少し感覚が違います。見た目が似ているため一括りにしてしまいがちですが、それぞれの音の特性を理解して丁寧に指導していくことが大切です。

・[h]音のポイント

「は・ひ・へ・ほ」の子音[h]は、息を「はー」と軽く出すことで作ります。のどの奥、声門（せいもん）を開いて、声を出さずにただ息を吐く練習から始めます。ろうそくの火をやさしく吹くイメージで、「声を出さずに、でもはっきりと」息を通す感覚をつかむことが大切です。摩擦音と呼ばれる音で、舌や唇の動きはあまり大きくありません。

・「ふ」[ɸ]音のポイント

「ふ」だけは[h]の仲間ではありますが、実際には[f]のような音に近い[ɸ]で発音されます。ただ、上の歯と下唇を使う英語の[f]とは異なり、両唇をすぼめて息を出すことで作る、日本語独特の音です。

この2つを比較すると下の表のようになります。

音	構音位置	構音方法	唇の動き	イメージ（説明）
は・ひ・へ・ほ	声門（喉の奥）	無声声門摩擦音（[h]）	動かない	のどの奥から、口を軽く開けて「はー」と息を出すイメージ。口元はあまり変化なし。
ふ	両唇（上下の唇）	無声両唇摩擦音（[ɸ]）	軽くすぼめる	唇を前にすぼめて、「ふー」と息を出す。英語の[f]より唇を丸くする。

今回は、ハ行音の練習方法についてお話しします。

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：金森、只腰、萩原

〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

TEL: 06-7712-1405（支援関係）／ 06-6761-1419（学校代表）

携帯:080-7008-9463（支援部専用）FAX: 06-6762-1800